

※以下の内容を記入し、**実験走行日から5日以内**に、メールにて事務局(challenge@rt-tsukuba.jp)までお送り下さい。
この情報は、つくばチャレンジ 2014 ホームページで共有します。

つくばチャレンジ 走行実験の内容および結果レポート

つくばチャレンジ 2014 第 9 回実験走行会 2014/ 11/15 (土)

ロボット No.: 1432

ロボット名: Rossy

チーム名: 筑波大学知能ロボット研究室 robolin.jp

記載責任者: 西田 貴亮

1 実験の目的(特に準備したことがあれば、それもお書き下さい。)

自律走行、探索対象の発見。

2 実験の具体的内容と成果

2.1 実験の具体的内容

コースを自律走行させ、探索対象を発見して完走できるかを確認した。

2.2 実験成果

全ての探索対象を発見し、コースを完走できた。

3 自律走行実験を行ったチームは以下にもお答え下さい。

3.1 自律走行の内容

生成した占有格子地図を用いて自律走行が行えるか確認した。

3.2 自律走行の結果(どこまで走れたか等)

完走できた。

3.3 残された課題

障害物回避時のロボットの速度が速いため、より安全な回避動作をさせること。

3.4 失敗した理由

なし。

3.5 確認走行を行った場合は、その記録

なし。

3.6 記録走行を行った場合は、その記録

記録走行を一度行い、全ての探索対象を発見し、コースを完走できた。

4.運営側、実行委員へのコメントや質問等があればお書き下さい。